

串間市エコツーリズム推進全体構想改訂の概要

改訂の目的

- 串間市では、地域の自然資源や生活文化を守りながら、持続可能なかたちで活用し、その恩恵を次世代にも送り届けることを目的としたエコツーリズムに取り組んでいる。
- 地域住民、事業者等との役割分担の下、串間市におけるエコツーリズムを適切かつ効果的に推進していくため、その基本的枠組みを定めた「串間市エコツーリズム推進全体構想」を平成29（2017）年に作成し、エコツーリズム推進法（平成19年法律第105号）に基づく認定を受けた。
- 認定から5年が経過し、地域・資源及び社会状況に変化が生じているほか、串間市におけるエコツーリズムの取り組みにも進展や新たな課題が見られている。
- こうした状況に対応し、串間市エコツーリズムが目指す「自然・歴史・文化・産業などの資源を活かした感動体験を通じた串間ファン育成による地域の元気化」を実現していくため、全体構想を見直し、一部を修正する。

主な見直しの視点

- 認定から5年にわたりエコツーリズムを推進する中で、新型コロナウイルス感染症の拡大をはじめ、社会状況が大きく変化した。また、串間市においては新しい観光施設の開業のほか、観光資源の状態や活用状況も変化している。今回これらの状況について見直しを行うものである。

新たに追加された主な自然観光資源

- (1) 動植物の生息地・生育地
 - ・ 都井岬のオキナグサ群生地
 - (2) 自然環境と密接な関係を有する風俗習慣その他の伝統的な生活文化に係るもの
 - ・ 茶
 - (3) その他の観光資源
- ※カテゴリーを新設し、その中に再生可能エネルギーと史跡の区分を設けた。
- ・ 串間風力発電所
 - ・ 木質バイオマス発電

- ・小水力発電
- ・串間の石造物
- ・古墳群

新たに追加する主な法令及び計画

- 串間市ゼロカーボンシティ宣言

フットパスの推進

- エコツーリズムの取り組みにおいて地域振興への貢献は重要であり、その方策として地場産品の活用や滞在日数増加の取り組みを挙げている。これに参加者が地域住民と直接触れ合う機会があるフットパスの推進を新たに加えた。

その他

- 現況に合わせて文言を変更・追加したほか、分かりやすい表現に一部修正した。また、数値等のデータについては最新のものに修正した。